

令和8年度（春）
市民と議会の懇談会概要

令和8年4～5月開催
宮津市議会

令和8年度春 市民と議会の懇談会（開催結果）

（令和8年4～5月開催）

開催日時	会 場	参加者数	担当議員
4月23日(木) 午後7時30分～	養老地区公民館	14人	(1班) 松本 隆 宇都宮 綾 堀 未季
5月19日(火) 午後7時30分～	福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	12人	星野 和彦 坂根 栄六 幾世 恭典
4月27日(月) 午後7時30分～	由良地区公民館	11人	(2班) 久保 浩 小濃 孝之 安田 裕美
5月17日(日) 午後2時～	福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	9人	長本 義浩 河原 末彦 横川 秀哉 松浦 登美義

合計 46人

令和 8 年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和 8 年 4 月 23 日（木）19：30～21：00
開催場所	北部地区 養老地区公民館
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾、堀 未季、星野 和彦、坂根 栄六、幾世 恭典
参加人数	14 人
令和 8 年度当初予算等に係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市における最大の課題は、人口減少である。 ・市外(近隣市町)への人口流出が続いていることに危機感がある。 ・下水道と浄化槽の水洗化率が実態と合っていないと思われる。 ・行財政改革の進捗に対して不安がある。中長期的な視点での安定した財政運営を求める。
議員定数・議員報酬の改正に係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし
その他の意見等	<p>(生活環境・インフラ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物が困難であり、地域の生活機能維持に不安がある。伊根町のように、買い物支援策（スーパーの誘致）を検討してほしい。 ・住民は下水道の整備を望んでいる。合併浄化槽では不十分だと感じる。生活環境や移住促進の観点からも課題。 <p>(行政・地域との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長にもっと橋北地域に足を運んで欲しい。 <p>(地域コミュニティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎化によって自治会の運営力が低下している。都市部で見られる「自治会運営代行」のような「支援する人の支援」について、宮津市でも公的支援を検討してほしい。 <p>(観光・民泊)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者不在のゲストハウスや民泊などによる地域トラブルを懸念する。地域と事業者の対話の場やルール(ガイドライン)が不足している。 <p>(将来への不安)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市の人口は今後 10 年で約 4,000 人減少し、1 万 2 千人台になる見込み。 ・過疎化の進行に伴い、精神疾患の患者や虐待事象の増加など、社会課題の深刻化を懸念する。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和 8 年 5 月 29 日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1 班 班長 松本 隆

令和8年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和8年4月27日（月）19：30～21：10
開催場所	南部地区 由良地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃 孝之、安田 裕美、長本 義浩、河原 末彦、横川 秀哉、 松浦 登美義
参加人数	11人
令和8年度当初予算等に 係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・観光都市の割には、宮津市の商工費は少ないのではないかと。 ・人手不足が言われているがインバウンド対策を考えているのか。 ・市立保育所が無くなった(休所)。違う形での子育て支援策を考えているのか。 ・観光事業者からのごみは事業ごみとして出しているのか。 ・由良地区は公共下水道の地域ではない。水道料金が下水道のある他の地域と同じなのはおかしい。 ・水道事業会計の広域型官民連携手法の導入可能性調査の内容は。また、予算額14億円の内訳は。 ・広報誌みやづで、総合的な治水対策の推進として浸水対策(由良)とあった。内容を教えてほしい。
議員定数・議員報酬の 改正に係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬は議員の能力に応じて引き上げるべきだ。 ・議員報酬をもっと上げて、議員にはもっと仕事をしてほしい。 ・議員定数が減ると市民の声を聞く議員が減る。
その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村に比べてごみの分別の種類が多い。これ以上分別を細分化するのは困難だ。 ・宮川の法面の改修や、砂防ダムから下を浚渫<small>しゅんせつ</small>してほしいとの要望を市にしているがなかなか進まない。市議会として現地を見てほしい。 ・火災時にサイレンの吹鳴をすべきだ。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和8年5月29日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和8年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和8年5月17日（日）14:00～15:30
開催場所	宮津地区 福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
出席議員	班長：久保 浩 議員：小濃 孝之、安田 裕美、長本 義浩、河原 末彦、横川 秀哉、 松浦 登美義
参加人数	9人
令和8年度当初予算等に係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの排出実態調査を10カ所で実施とあるが、ゴミステーションは全部でどれくらいあるのか。調査結果は公表されるのか。 ・各自治会からの要望について、要望後の流れはどうなっているのか。回答が前進しないものが多い。 ・宮津市の火葬場は与謝野町の施設より規模が小さい。今後も現施設を使うが何年持つのか。必要に応じて修理などを行っているのか。 ・エネ研の跡地はどうなっていくのか。企業誘致の状況は。 ・国保税の滞納者への対応状況は。年金受給者も結構な税額を払っている。国保税を納めていなくても医療機関は受診できる。滞納への対応時間が長いと感じる。もっと厳しくできないか。 ・医者が過剰投薬をしていると感じる。
議員定数・議員報酬の改正に係る質問・意見	なし
その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎移転に伴いミップル内の店舗が減るが、今後どうなるのか。 ・自治会要望について、「ゼロ回答」が多く前に進んでいないと感じている。 ・水道料金が高くなる理由と下水道の普及率について。

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和8年5月29日 宮津市議会議員 松浦 登美義 様

2班 班長 久保 浩

令和8年度「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和8年5月19日（火）19：30～21：00
開催場所	宮津地区 福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
出席議員	班長：松本 隆 議員：宇都宮 綾、堀 未季、星野 和彦、坂根 栄六、幾世 恭典
参加人数	12人
令和8年度当初予算等に係る質問・意見	<p>（一般会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関（バス運行会社）へ補助金を出している理由は。 ・バスの枝線を廃止したが、「人口減少に立ち向かう予算」であれば、補助金を増額して枝線の復活等をするべきではないか。 ・予算に対する歳出の状況はどうか。 ・宮津市は財政再建団体から脱却しているのか。 <p>（水道事業会計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域型官民連携手法の導入可能性調査の目的はなにか。
議員定数・議員報酬の改正に係る質問・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・議員定数を2名減したのだから報酬は現行額でよい。報酬の増額は市民の納得が得られないのではないか。 ・宮津市特別職報酬等審議会の答申に付された附帯意見について <ul style="list-style-type: none"> ○「議員のなり手不足への適切な対策」 →宮津市は「なり手不足」ではなく、いつも選挙が行われる。 ○「長期欠席の場合の報酬のあり方の検討」 →長期欠席の場合、民間企業であれば報酬等はゼロである。 ・議員活動が不透明。議会として京都府等へ要望活動をすべき。
その他の意見等	<p>（庁舎移転）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミップルビルは津波の心配がある。災害対策をしてから移転すべきではないか。市庁舎は他の場所で新築すべき。 ・庁舎備品等でまだ使えるものは、新しく購入せずに使うべき。 <p>（観光）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁忙期等に府中公園や府中小学校グラウンドを無料駐車場としているが、周辺の民間駐車場は有料。駐車料金を徴収すべき。 ・天橋立の世界遺産登録に向けて、もっと様々な形でPRすべき。 <p>（行政と地域の関係）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣対策における令和7年度から新しい捕獲檻が使用不可となった件について、市が地元と協議せず一方的で強行な姿勢が問題。

	<p>(生活環境)</p> <ul style="list-style-type: none">・市が実施した清掃工場跡地（波路）の調査で土壌汚染が分かった。費用等の都合で煙突と炉の撤去はすぐにはできない。課題解決のために、市と府の情報交換などを求める。・水上バイクの運行によって、海岸で遊んでいる人が波に呑み込まれる危険性や密猟等の問題がある。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和8年5月29日 宮津市議会議長 松浦 登美義 様

1班 班長 松本 隆